

みんなで 取り組もう！

ごみ問題

本市では、人口減少に伴い燃やせるごみの排出量は減少傾向にあります。一方で、ごみの出し方のマナーが守られていない例が見受けられます。この機会に、ごみの出し方について今一度確認しましょう。また市内では、地域ぐるみの美化活動が展開されています。環境美化について改めて考え、美しいまちづくりのためにできることを始めてみませんか。

〒環境課 (☎ 82-1143) 環境衛生センター (☎ 83-3651)

ごみの出し方で特に気をつけてほしい4つのポイント

1 生ごみはしっかり水を切ろう！

一般的に燃やせるごみの約30～40%が生ごみで、生ごみの約65～70%が水分と言われています。また、生ごみの臭いや腐敗の原因は、水分にあります。生ごみの水分をしっかり切ると、悪臭や腐敗の防止だけでなく、ごみの減量化にも繋がります。



3 ペットボトルを正しく出そう！

本体は資源ごみへ、キャップは燃やせるごみに出してください(ラベルは外す必要はありません)。キャップが付いていると、収集の際にキャップが飛んで危険であるほか、きれいな製品にリサイクルすることができません。



2 スプレーかん等は穴を開けて出そう！

スプレーかんやカセットボンベ等は、誤った処理の仕方をするとう爆発等の事故が発生する恐れがあります。次の手順で正しく処分してください。



- 1 中身を最後まで使い切る
- 2 火気のない、風通しのよい屋外でガス抜きをして、穴を開ける
- 3 スプレーかん・カセットボンベのみで透明な袋に入れて「空きかん」の日に出す



4 リサイクル家電は正しく処分！

テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、エアコン、洗濯機、衣類乾燥機



次のいずれかの方法で処分してください。

- ・家電を購入した販売店、または新たに購入する販売店に引取りを依頼
- ・郵便局で家電リサイクル券を購入し、指定引取場所へ持込み



CHECK

- ・ごみの出し方については、市ホームページをご覧ください。
- ・外国人など日本語があまり得意でない人のための「やさしい日本語版ごみ収集カレンダー」もご用意しています。



家庭ごみの出し方



やさしい日本語版

不適切にごみの排出によりこんな被害が発生しています

× ごみ収集車の火災

平成17年は2件、平成22年・28年はいずれも1件ずつ発生しています。原因の多くは、カセットボンベ、ライター、リチウムイオン電池などの危険物の混入です。これらは、ごみ処理施設での引火・爆発事故の原因にもなります。スプレーかん・カセットボンベは「空きかん」、ライター・リチウムイオン電池は「燃やせないごみ」の収集日にごみステーションに出してください。



▲平成17年に起きた火災

× トイレへの混入物による事故

下水道管に異物が詰まったり、異物の混入により汚水処理施設の機器が故障したりするなどの事故が発生しています。トイレには、トイレットペーパー以外のものを流さないようにしましょう。